

専 門 分 野 Ⅱ  
精 神 看 護 学

# 精神看護学のねらい

現代社会は精神的ストレスに満ちた社会であり精神保健の重要性が求められている。また一方では、大地震や豪雨災害、不慮の事故や事件等で被害を受けた人々に対して心のケアの必要性が高まっている。このように、精神への看護は、精神保健と精神科看護の二つの側面を持ち、自己と他者の精神的健康を考え、支援をすることが求められている。

精神看護学では、あらゆる領域で様々な健康水準、発達段階にある人に対して、看護を展開するための基礎的知識と技術を学習する。

## 「精神看護学概論」

精神看護の目的と対象を理解する為、精神(心)の健康の概念、精神(心)の構造と機能、精神(心)の発達を学習する。また、精神保健福祉の歴史を概観し、精神保健医療福祉の現状と課題、精神に障害を持つ人を支える法律、近年注目されている災害時地域保健活動について学習する。

## 「精神に障害をもつ人の理解」

精神障害の特徴と治療の理解のため、入院患者の割合が多い統合失調症や近年増加傾向にある気分障害などの様々な精神疾患の症状や検査・治療について学習する。さらに、患者の人権や安全を社会の中で守る具体的な看護の方法について学習する。

## 「精神看護の基本技術」

患者との関係について、必要とされる治療的コミュニケーションの知識と技術、精神の健康増進・回復の技術(SST)を学ぶ。また「人間関係の看護論」の実践を支える看護師の能力として自己洞察力育成も重要であり、その方法の一つとして「再構成」を学習する。

## 「精神に障害をもつ人の生活と看護」

精神に障害をもつ人を、生活者としての視点で捉らえ、その人の感じる生きにくさを理解し、自立に向けた援助を学習する。理論を用いて、患者の自己決定能力やセルフケア能力に視点を当て、生きる力と強さに着目した援助や家族への支援を考える。また、自己決定能力やセルフケア能力の低下が、精神に障害をもつ人に見られる共通の傾向であることを踏まえ、セルフケアに着目し、患者や家族の意思を尊重した援助の重要性について学習する。

## 「精神看護学実習」

精神保健医療福祉は「入院医療中心から地域生活中心へ」と転換され、精神に障害をもつ人がその人らしく自立した生活を営めるよう、さまざまな施策が進められている。「入院している精神に障害をもつ人の看護」は精神科病院で実習し、患者に必要な援助を実践する。また、援助場面の振り返りから再構成を用いて自己洞察を行う。「地域で生活している精神に障害をもつ人の看護」は、地域施設で実習する。精神に障害をもち地域で生活している人との関わりを通し、必要な支援や精神保健医療福祉の課題を学ぶ。

# 精神看護学

## 【目的】

精神の成長発達、健康の保持増進、精神障害の予防と回復、生活調整に向けた精神看護に必要な基礎的能力を養う。

## 【目標】

- 1 精神の構造と機能、成長と発達、精神の健康の概念を理解できる。
- 2 精神の健康の維持・増進に向けた精神保健活動を理解できる。
- 3 精神看護の展開される場の特徴と援助の方法を学び、看護全般における精神看護の果たす役割を理解できる。
- 4 精神医学の診断・治療を理解し、精神に障害をもつ人のアセスメント看護介入を理解できる。
- 5 患者の人権と安全を考えた上での、患者—看護師関係の成立・発展について学び、他者理解・自己洞察できる。
- 6 精神保健医療福祉の変遷と課題を、歴史的、社会的、医療的見地から学び、精神障害者の地域生活を支えていくための看護師の役割と今後の方向性を展望できる。

## 【構成および計画】

<講義>

科 目	単位数	時間数	学年別計画時間		
			1年	2年	3年
精神看護学概論	1	30	1(30)		
精神に障害をもつ人の理解	1	30		1(30)	
精神看護の基本技術	1	15		1(15)	
精神に障害をもつ人の生活と看護	1	30		1(30)	
合 計	4	105	1(30)	3(75)	

<臨地実習>

科 目	実習内容	単 位 (時間)	時 期
精神看護学実習	精神に障害をもち入院している人の看護	2 (90)	2~3年次
	精神に障害をもち地域で生活している人の看護		
合 計		2 単位 90 時間	

## 科目 精神看護学概論 1単位 (30時間)

科目目標：1. 精神看護の目的と意義、精神の健康の概念を理解する  
2. 精神保健医療福祉の変遷と看護の役割を理解する

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業 専任教員
精神看護の 目的・対象 役割と機能	20	<p>1 精神看護の目的と意義を理解できる</p> <p>2 精神の健康の意義を理解できる</p> <p>3 精神看護の基盤となる理論を理解できる</p>	<p>1 社会環境の変化と社会病理</p> <p>2 精神看護とは</p> <p>1) 精神看護と精神科看護</p> <p>2) 看護の目的・対象</p> <p>1 精神の健康</p> <p>1) 精神の健康の概念</p> <p>2) 精神の不健康、障害の考え方 カプランの予防概念 (1) 精神障害の第一次予防、第二次予防、第三次予防</p> <p>2 精神（心）とは</p> <p>1) 脳と精神のつながり（生物学的側面）</p> <p>(1) 脳の部位と精神機能</p> <p>(2) 神経伝達物質と精神機能</p> <p>(3) ストレス脆弱性仮説</p> <p>(4) 脳と免疫機能</p> <p>(5) 睡眠障害とサーカディアンリズム</p> <p>3 精神の構造と機能</p> <p>1) 精神力動</p> <p>(1) 自我の機能 ①防衛機制</p> <p>2) 精神の心理学的側面</p> <p>(1) 精神情緒の発達 (2) 転移感情</p> <p>(3) 集団力動 (4) ストレスと対処</p> <p>(5) 適応理論</p> <p>3) 精神の社会的側面</p> <p>(1) 偏見、差別、スティグマ</p> <p>1 フロイトの精神力動理論</p> <p>1) 意識・全意識・無意識</p> <p>2) イド・自我・超自我</p> <p>3) 自我の防衛機制</p> <p>2 エリクソンの漸成的発達理論</p> <p>3 クラインの対象関係論</p> <p>4 ストレスと対処行動と危機理論</p> <p>1) 危機の概念</p> <p>2) 危機介入と予防</p> <p>3) 各発達段階における危機状況と対処</p>	

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
精神保健医療 福祉の変遷と 活動	8	4 生活の場における精神 保健と危機的状況につい て理解できる	1 生活の場における精神保健と危機的状況 (1)家庭 (2) 学校 (3)職場 (4) 社会生活	
		5 災害時地域精神保健医 療活動について理解でき る	1 災害時地域精神保健医療活動 1) 災害時の対象と精神保健医療活動 (心のケア) (1)被災者 (2) 災害時要援護者 (3)災害救助者 2) 災害時の精神保健初期対応 (1)災害時における心理的な反応と対応 ①急性期ストレス反応 ②スクリーニング ③災害後1か月 3) 災害時の精神障害者への治療継続への援 助	
		6 リエゾン精神看護につ いて理解できる	1 心身相関と健康 2 身体疾患をもつ人の精神の健康 3 精神疾患をもつ人の精神の健康 4 患者と家族の精神の健康 5 看護職者の精神の健康 6 支持的面接 7 心身相関の考え方に基づくホリスティック ケア 8 リラクセーション 9 患者、家族、保健医療福祉専門職間の連携・ 促進	
1 精神保健医療福祉の歴 史と看護について理解で きる	1 欧米における歴史 2 日本における歴史 3 精神保健医療福祉における看護師の役割			
2 精神保健・医療福祉に 関する法律が理解できる	1 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 の基本的考え方 2 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 による入院の形態 3 精神保健指定医・特定医師			
3 権利擁護について理解 できる	1 権利擁護 1) 当事者の自己決定の尊重 2) 入院患者の基本的処遇 3) 精神医療審査会 4) 隔離・身体拘束			

単元名	時間数	単元目標	内 容	実務経験のある 教員による授業
まとめ・試験	2	4 精神保健医療福祉に関連する法律が理解できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 自殺対策基本法</li> <li>2 犯罪被害者等基本法</li> <li>3 精神の健康を守る行政システム</li> <li>4 障害者総合支援法</li> <li>5 医療観察法</li> </ul>	

**科目 精神に障害をもつ人の理解 1単位 (30時間)**

- 科目目標：1. 精神医学の診断・治療に関する基本的な知識を理解する  
 2. 精神看護の基盤となる回復を支援する看護について理解する

単元名	時間数	単元目標	内容	実務経験のある 教員による授業
精神障害の 特徴と治療 の理解	14	1 精神機能に疾病を持つ人のアセスメントに必要な疾病および治療に関する基礎知識を理解できる	1 精神疾患の診断基準 1) ICD-10 2 精神疾患 1) 症状性を含む器質性精神障害 2) 精神作用物質使用による精神・行動の障害 3) 統合失調症、統合失調症型障害、妄想性障害 4) 気分(感情)障害 5) 神経症障害、ストレス関連障害、身体表現性障害 6) 生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群 7) 成人の人格・行動の障害 8) 精神遅滞 9) 心理的発達の障害 10) 小児期・青年期に通常発症する行動、情緒の障害 3 診断に必要な検査 1) 脳波検査・脳の画像検査 2) 心理検査 3) 脳脊髄液検査 4 精神疾患の主な治療 1) 薬物療法 (1) 抗精神薬 (2) 抗うつ薬 (3) 抗不安薬 (4) 気分安定薬 (5) 睡眠薬 (6) 抗てんかん薬 2) 電気けいれん療法 3) 精神療法 (1) 個人精神療法 (2) 集団精神療法 (3) 認知行動療法 4) リハビリテーション療法 (1) 作業療法 (2) 芸術療法	医師

単元名	時間数	単元目標	内容	実務経験のある 教員による授業
精神に障害をもつ人の看護の基本	10	1 精神に障害をもつ人の看護の基本について理解できる	1 治療環境の提供 1) 病棟環境の整備 2) 行動制限と看護 (1) 隔離室使用時の看護 (2) 身体拘束時の看護 (3) 処遇等への看護(通信、外泊・外出・面会等) 2 治療を受ける患者の看護 1) 薬物療法を受ける患者の看護 2) 精神療法(環境療法・社会療法を含む)を受ける患者の看護 3) 電気痙攣療法を受ける患者の看護 3 リスクマネジメント 1) 自殺・自殺企図・自傷行為 2) 攻撃的行動・暴力・暴力予防プログラム 3) 災害時の精神科病棟の安全確保 4) 離院 5) 事故(転倒・誤飲、窒息・誤薬) 4 権利擁護 1) 入院患者及び地域での具体例	専任教員
	4②	2 精神に障害をもつ人の家族の看護について理解できる  3 精神科看護の場とそれぞれの役割を理解できる	1 家族の理解とその援助 1) 家族のストレスと健康状態のアセスメント 2) 家族の対処力とソーシャルサポートのアセスメント 3) 家族システムのアセスメント 4) 家族への教育的介入と支援 5) 患者-家族関係 6) 家族会  1 社会復帰・社会参加の基本 1) リハビリテーションの概念 2) 国際生活機能分類(ICF) 3) 精神障害者の地域移行退院支援 2 保健医療に関する資源の活用と調整 1) 保健所、市町村、精神保健福祉センター 2) 精神科デイケア・精神科ナイトケア 3) 訪問看護、精神科訪問看護 3 福祉に関する資源の活用と調整 1) 精神障害者ケアマネジメントの基本的な考え方 2) 社会資源の活用とソーシャルサポート(エコマップ) 3) 自立支援医療 4) 居宅介護<ホームヘルプ> 5) 同行援護、行動援護 6) 重度訪問介護	精神保健福祉士

単元名	時間数	単元目標	内容	実務経験のある 教員による授業
<p>まとめ・試験</p>	<p>2</p>		<p>7)生活介護  8)短期入所&lt;ショートステイ&gt;  9)共同生活介護&lt;ケアホーム&gt;  10)生活訓練  11)就労移行支援  12)就労継続支援A型・B型  13)共同生活援助&lt;グループホーム&gt;  14)地域生活支援事業  15)精神障害者保健福祉手帳  4 チーム医療と人的資源の活用・調整  1)保健師  2)精神保健福祉士  3)作業療法士  4)精神保健福祉相談員  5)セルフヘルプグループ  6)ピアサポーター  7)薬剤師  8)栄養士  9)心理専門職  5当事者の抱える生活上の困難</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>演習 2H  ・当事者の抱える生活上の生きにくさ</p> </div>	

科目 **科目 精神看護の基本技術** 1単位 ( 15 時間)

科目目標：1. 患者－看護師関係の成立・発展について学びコミュニケーション技術を理解する  
2. 再構成の実践を通し、自己洞察・他者理解の意義を理解する

単元名	時間数	単元目標	内容	実務経験のある 教員による授業
精神看護技術	6②	1 患者－看護師関係の成立・発展について理解できる	1 ペプローの人間関係論 1) 看護とは 2) 患者－看護師関係の4つの局面 3) 看護の役割  2 精神看護におけるコミュニケーション技術 1) コミュニケーションの原則 2) コミュニケーション技法 3) アサーティブ 4) 患者－看護師のコミュニケーションの実際 (看護カウンセリングを含む)	専任教員
	4	2 精神の健康増進・回復の援助方法を理解できる	校内実習 2H 精神看護におけるコミュニケーション技術 ① 模擬患者にコミュニケーションスキルを用いて関わる ② 関わった場面を再構成の課題とする  1 SST 1) ストレス 脆弱性－対処技能モデル 2) SST の目的・対象 3) SST の種類 (1) 基本訓練モデル (2) 問題解決技能訓練 (3) モジュールを用いた訓練 (4) SST の実際 2 心理教育的アプローチ 1) 心理教育とは 2) 心理教育の対象 3) 情報提供と問題解決セッション 4) 心理教育の実際	
	4②	3 再構成が実施できる	1 再構成とプロセスレコード 1) 自己洞察の意義 2) プロセスレコードの目的・方法 (1) ペプロー (2) オーランド (3) ウィーデンバック  演習 2H ・再構成の実際	
試験	1			

## 科目 精神に障害をもつ人の生活と看護 1単位 ( 30 時間)

- 科目目標：1. 精神に障害のある人の健康状態に応じた看護について理解する  
2. 統合失調症の事例を用いてアセスメント・看護介入を理解する

単元名	時間数	単元目標	内容	実務経験のある 教員による授業
精神に障害をもつ人の生活と看護	14	1 精神に障害をもつ人の生活の特徴と家族を含めた看護を理解できる	1 統合失調症をもつ人の生活と看護 1) 精神症状・身体症状・セルフケアのアセスメント 2) 経過に応じた関わり 3) 幻覚・妄想状態にある人の生活と看護 4) 昏迷状態にある人の生活と看護 5) 意欲減退状態にある人の生活と看護 2 気分障害をもつ人の生活と看護 1) 精神症状・身体症状・セルフケアのアセスメント 2) うつ状態にある人の生活と看護 3) 躁状態にある人の生活と看護 3 強迫性障害をもつ人の生活と看護 1) 不安と防衛機制 2) 強迫症状と看護 4 操作・試し行為をもつ人の生活と看護 1) 成長発達の特徴 2) 操作・試し行為と看護 5 摂食障害をもつ人の生活と看護 1) 成長発達の特徴 2) 摂食障害と看護 6 アルコール依存をもつ人の生活と看護 1) 離脱症状と看護 2) リハビリテーションと看護 7 てんかんをもつ人の生活と看護 1) てんかん発作と看護 8 発達障害をもつ人の生活と看護 1) 発達障害と看護 9 身体合併症の看護 1) 身体ケアの必要性 2) 身体にあらわれる心の痛み 3) 有害反応と看護 (1) 抗精神病薬 (2) 生命の危険を伴うもの (3) 日常生活に影響を及ぼすもの	看護師
精神に障害を持つ人の事例展開	4	1 セルフケアの援助について理解できる	1 オレム・アンダーウッド看護モデル 1) 食物・水分の摂取、呼吸 2) 排泄 3) 清潔と身だしなみ 4) 活動と休息 5) 対人関係 6) 安全	専任教員



